

【歴史・文化を軸にした東京の魅力発信】 第3回懇談会

令和5年4月27日（木曜日）17:00～

- 1 令和4年度の取組の報告について
- 2 令和5年度の取組について
- 3 意見交換
 - (1) 江戸城をモチーフとした新たなコンテンツの企画
 - (2) 江戸の英知と現代に繋がるSustainability
- 4 今後の予定

1. 令和4年度の取組の報告について

1. 令和4年度の取組の報告について

これまでの懇談会における意見について

アイコン

キーワード

食

旬のもの（「はしり」「さかり」「なごり」）

空間的広がり

濃口醤油

鮨には、普遍性と発展性（スシの最先端）

未来のテクノロジー

筋肉が増えたマダイ

過去から現代への時間軸の広がり

最先端の鮨

東京から世界に広まった鮨

1. 令和4年度の取組の報告について

これまでの懇談会における意見について

アイコン

キーワード

江戸城

江戸の骨組み

400年あまり日本の中心だった江戸城

軍事的な側面

土台の石垣

兵農分離

一から江戸という都市

見附

無血開城

全国統治の拠点

失われた天守は、すぐに再建ではない

江戸時代の城郭で戦争を経験したものはまれ

明治維新

江戸城としての役目を終え、衣食住が一変

無傷のまま近代

五感を通じた実体験

1. 令和4年度の取組の報告について

これまでの懇談会における意見について

アイコン	キーワード
暖簾	<p>面白い暖簾</p> <p>ウェルカム</p> <p>指を拭くため</p> <p>付加価値</p> <p>汚ければ汚いほど</p>
サステナビリティ	<p>古着</p> <p>鳶沢甚内（とびさわじんない）</p> <p>排泄物までもリサイクル</p> <p>小石川養生所</p> <p>大名のものは高価</p> <p>庶民のものは安価</p> <p>棒手振（15歳以下の年少者、身体障害者、50歳以上の高齢者。江戸北部だけで5,900人）</p> <p>災害との戦い</p> <p>手に技術を与えて社会復帰</p> <p>石川島人足寄場</p> <p>復興する活力</p> <p>過剰包装</p> <p>エコバック</p> <p>歴史、文化、歴史遺産を繋いでいくこと</p> <p>レジ袋の使い捨て</p> <p>風呂敷</p>

1. 令和4年度の取組の報告について

これまでの懇談会における意見について

アイコン	キーワード
水辺	<p>水の都市</p> <p>川に行くツアー</p> <p>治水</p> <p>「橋」が地名</p> <p>水運の方が早く</p> <p>水辺がある都市は多い</p>
その他	<p>重要な価値</p> <p>練馬大根</p> <p>茗荷</p> <p>五街道</p> <p>江戸と武蔵野にサイクル</p> <p>小松菜</p> <p>浮世絵</p> <p>前近代的ではない</p> <p>番付</p> <p>草紙</p> <p>二男三男</p> <p>芸術家</p> <p>都知事の最初は大岡越前</p> <p>フレキシブル</p> <p>作家</p> <p>町人</p> <p>大江戸</p> <p>下り物</p> <p>列島が同質化・一律化</p> <p>江戸っ子</p> <p>下らぬ物₇</p>

1. 令和4年度の取組の報告について

これまでの懇談会における意見について

発信方法について

項目	意見
受取側の共感や親近感の獲得	<p>ターゲットを選定</p> <p>面白い</p> <p>特徴</p> <p>裏側にあるストーリー</p> <p>初音ミク</p>
「インサイドストーリー」での表現	<p>不自由な不幸な時代ではない</p> <p>リテラシー</p> <p>アイコンを作っていく</p> <p>日本人の感性</p> <p>礼儀</p> <p>行動様式</p> <p>磨いていく</p> <p>理解して、誇りに思っていく</p> <p>なまはげ</p> <p>共通点</p> <p>ヨーロッパ</p>

1. 令和4年度の取組の報告について

これまでの懇談会における意見について

発信方法について

項目		意見	
受取側の共感や親近感の獲得	「魅力」の伝え方 (発信相手の声の反映)	海外の外国人が決める	受取側がどう感じたか
		評価相手とのキャッチボール	受取側が発信する
		こういうのは面白いよね	観光資源を発信する
技術の活用		最新鋭のデジタルコンテンツ	五感で体感・体験できる
		ハイビジョン	再現性を担保した体験
		資料を、何度か重ねて展開	手段は柔軟に検討
			後世に残せるデータ作り
		メタバースを活用して実際に 熙代勝覧の街並み	あらゆる人が街中でいろんなものを 売りながら歩いている様子

1. 令和4年度の取組の報告について

これまでの懇談会における意見について

発信方法について

項目	意見
その他	<p data-bbox="397 301 986 386">かみ砕いたところから発信</p> <p data-bbox="1069 322 1504 408">体感した人が発信</p> <p data-bbox="1624 327 1877 412">口コミ</p> <p data-bbox="439 462 1158 548">城下町の街並みの復元の模型</p> <p data-bbox="1591 466 1844 552">リピート</p> <p data-bbox="488 605 1288 691">説明文もあると、ついつい見ってしまう</p> <p data-bbox="1442 634 1806 719">謎解きゲーム</p> <p data-bbox="642 743 955 829">職人尽絵</p> <p data-bbox="1181 779 1984 865">キュレーションし直したポップアップショップ</p> <p data-bbox="443 908 1069 1033">どうやって探せばいいのか、案内の工夫を検討</p> <p data-bbox="1624 901 1877 986">フィジカル</p> <p data-bbox="1131 1015 1728 1140">激変の中で、強く維持していくことができるまち</p>

1. 令和4年度の取組の報告について

City-Tech Tokyoへの出展

✓ **日時**： 令和5年2月27日、28日

✓ **場所**： 東京国際フォーラム 地下1階

✓ **コンテンツ内容**：

－ VR作品「江戸城の天守」

現存しない江戸城天守を、史料や歴史考証を元にデジタル再現したVR作品を披露

－ 江戸の英知照覧

「熙代勝覧」に描かれたサステイナブルな英知を、「提灯」で探す体験型コンテンツをデモ実演

－ 絵巻に潜む江戸の英知を解き明かそう“ETOKI ONLINE”

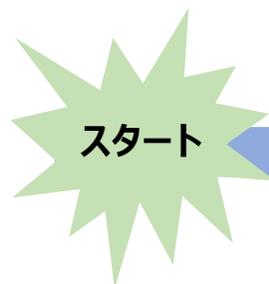
「熙代勝覧」の世界を、高解像度の画像で閲覧でき、閲覧者が意見交換できるウェブコンテンツを公開し、多くの来場者に体験していただいた。



1. 令和4年度の取組の報告について

体験型コンテンツ「江戸の英知照覧」

大型モニター上に「熙代勝覧」を映し出し、提灯型のデバイスで、「熙代勝覧」に潜む英知や魅力を探し出す体験をしていただくもの。



出典：AMF / © bpk / Staatliche Museen zu Berlin, Museum für Asiatische Kunst, former collection of Hans-Joachim and Inge Küster, gift of Manfred Bohms, photography: Jürgen Liepe

	2/27	2/28	合計
体験者	7	25	32
観覧者	18	41	59

※両日とも15分のセッションを3回実施

《来場者の反応》

- 総じて満足度が高く外国人にも好評であった
- 訪日外国人客が宿泊する宿などがマッチするという意見あり
- 一人ずつではなくグループで参加してもらった方がより盛り上がった

1. 令和4年度の取組の報告について

ETOKI ONLINE

1つの題材例として採り上げる「熙代勝覧」に潜む英知や魅力に解説を加え、防災、流通、教育、食、サステナビリティ、ダイバーシティ等の分野ごとに英知や魅力を辿る体験をしていただくもの。



防災と街づくり

「火事と喧嘩は江戸の草」と呼ばれるほどに、江戸は火事の多い町でした。しかし、江戸は火災から何度も立ち直り、現在の東京へと発展したのです。防火や消防の制度・組織づくりなど、火に強い町づくりの知恵をご紹介します。



流通と豊かさ

「熙代勝覧」には、数多くの商店が軒を連ね、大勢の商人が往来する様子が描かれています。全国から人や物資が集まる江戸は、世界有数の大都市東京へと発展しました。江戸の経済を支えた流通網や様々な業種の商人、扱われた商品をご紹介しますながら、江戸の豊かさに迫ります。



教育と情報

「熙代勝覧」には文字の書かれた暖簾や看板が数多く描かれており、江戸の人びとのリテラシーの高さが伺えます。江戸時代には、身分を問わず多くの人びとが教育を受けられました。当時の教育の在り方や、教育に支えられて発展した郵便や出版などの情報文化をご紹介します。



出典：AMF / © bpk / Staatliche Museen zu Berlin, Museum für Asiatische Kunst, former collection of Hans-Joachim and Inge Küster, gift of Manfred Bohms, photography: Jürgen Liepe

《来場者の声》

- 高繊細な絵巻のビジュアルや英知のコメントに対して興味を持った
- ETOKIシステム自体に興味を持った

体験者満足度アンケート



1. 令和4年度の取組の報告について

都庁南展望室でのイベント開催

- ✓ 日時： 令和5年3月27日～29日
- ✓ 場所： 都庁第一本庁舎45階 南展望室
- ✓ 体験： 提灯型のライトを用いて、1組（最大2名）あたり3分程度で体験

➔ 3日間で、400組弱がコンテンツを体験、大半の体験者からご好評をいただいた。



出典：AMF / © bpk / Staatliche Museen zu Berlin,
Museum für Asiatische Kunst, former collection of
Hans-Joachim and Inge Küster, gift of Manfred
Bohms, photography: Jürgen Liepe

1. 令和4年度の取組の報告について

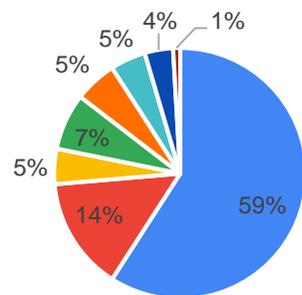
■ アンケート結果

《来場者の声》

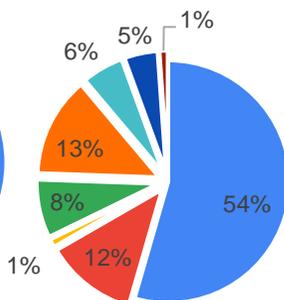
- 楽しみつつ勉強にもなるので良い（5点・都内在住・40代）
- easy to understand.（5点・海外在住・20代）
- 3問では、物足りない（3点・居住地不明・40代）

【体験者属性】

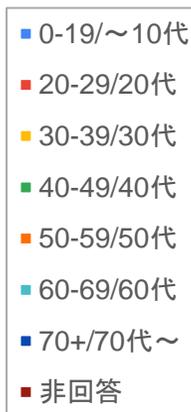
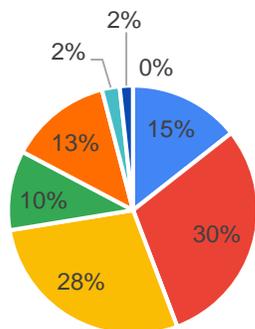
<都内>



<国内（都内除く）>



<海外>



年代	都内	国内（東京都を除く）	海外
0-19/10代	65	49	25
20-29/20代	16	11	52
30-39/30代	5	1	49
40-49/40代	8	7	18
50-59/50代	6	12	23
60-69/60代	5	5	4
70+/70代~	4	4	3
無回答	1	1	0
合計	110	90	174

【属性別満足度】

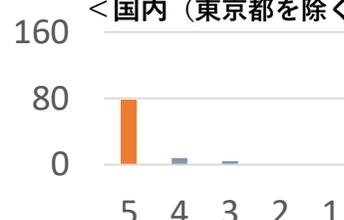
年代、居住地を問わず満足度の5を付ける回答が大半を占めた

▶ 居住エリア別

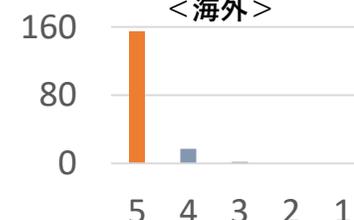
<都内>



<国内（東京都を除く）>



<海外>



▶ 年代別

200

100

0



2. 令和5年度の取組について

2. 令和5年度の取組について

1 江戸城をモチーフとした新たなコンテンツ

- 江戸城をモチーフとした新たなコンテンツの企画
※懇談会で企画・製作段階を報告。方向性を議論

今後、新たなコンテンツを制作していく

2 江戸の歴史・文化を軸にした東京の魅力発信

- 現代の課題を解決し、未来に向けて発信するものとして、「サステナビリティ」を軸に英知を整理
- 東京都公式Twitter（文化・芸術）による発信
- 体験型コンテンツ「英知照覧」、「ETOKI」を活用
- 短編動画による発信

とりまとめ

国内外のイベントで広報物として配布・投影

ウェブ上で、高頻度に発信

今秋開設予定のリアルの体感拠点、冬開催のデジタル空間での東京の魅力発信イベントと連携



2. 令和5年度の取組について

江戸から続く東京のサステナブルな魅力や英知を、デジタル技術を活用し、リアル&バーチャルのハイブリッドで発信

リアル

デジタルコンテンツの体感拠点

- 最新の“テクノロジー×アート×デジタル”で「未来の東京」を体感できる拠点を開設



体感拠点の詳細

場所：東京スポーツスクエア（TSS）（有楽町）
1階フロア

- ① 体験型メディアアートを展示
- ② 新鋭・若手クリエイターの作品を中心に展示
- ③ オンラインコンテンツの活用による展示作品紹介

バーチャル

デジタルコンテンツを活用した東京の魅力発信

- デジタル空間を活用した新たな情報発信の場を創設
- 江戸の英知や東京の産業等の多彩な魅力をコンテンツとして発信するイベントを開催
- 参加・交流型のデジタルイベントとして、企業の交流や、多くの方に参加いただく企画を準備



2. 令和5年度の取組について

体験型コンテンツの更なる展開



VR作品



体験型コンテンツ



Webコンテンツ

出典：AMF / © bpk / Staatliche Museen zu Berlin,
Museum für Asiatische Kunst, former collection of
Hans-Joachim and Inge Küster, gift of Manfred
Bohms, photography: Jürgen Liepe

- 昨年度制作した体験型コンテンツを各種イベント等に積極的に出展
- 単発のイベントに加え、一定期間出展・展示することも検討
- 効果的な展示箇所・イベント等の選定を行う。
- 子どもや海外からの観光客などを主なターゲットとしていく。

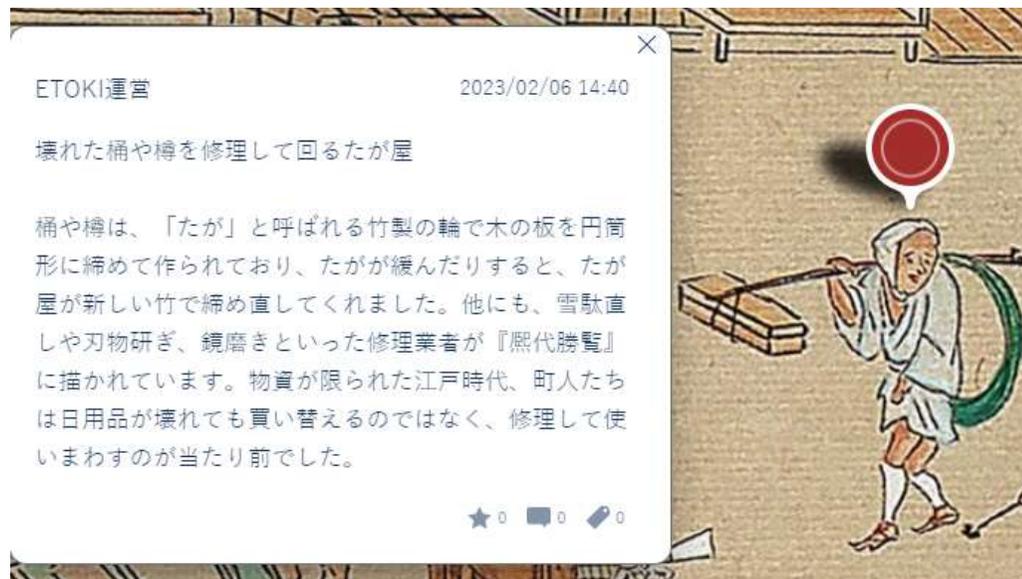
2. 令和5年度の取組について

SNS・ウェブサイトを活用した発信

東京都公式Twitter（文化・芸術）による高頻度な発信



ウェブサイトで公開中のコンテンツ



<https://web.etoki.jp/viewer/#/items/26>

その他、江戸の英知について以下で紹介
<https://www.edo-wisdom.metro.tokyo.lg.jp/>

出典：AMF / © bpk / Staatliche Museen zu Berlin, Museum für Asiatische Kunst, former collection of Hans-Joachim and Inge Küster, gift of Manfred Bohms, photography: Jürgen Liepe

- 東京都が所有する様々なSNS媒体で、定期的に発信
- 現代の東京に残る英知を短編動画にまとめて発信することを検討

3. 意見交換

3. 意見交換

1 江戸城をモチーフとした新たなコンテンツの企画

- ✓ 江戸の町は、現代東京の原点。当時の政治、経済、文化の中心
- ✓ サステナビリティに富む江戸の英知は、江戸の町を舞台に数多く生み出された
- ✓ 江戸城は、そうした江戸の町づくりの起点であり、江戸の町発展の中心地

➡ 江戸城をモチーフとして、歴史や文化を体験・体感できる新たなデジタルコンテンツを制作

- 歴史やお城好きの方だけではなく、東京に暮らす人々、東京を訪れる人々に対し、江戸の英知に対する**興味関心を喚起し、東京の隠れた魅力を再発見**していただくためのツールとする
- 江戸城を中心に据えることで、江戸を象徴し、**都民に永く愛されるアイコン**としていく

コンテンツの方向性を今後の懇談会で議論、深掘り

- (例)
- 江戸城下の街並みや賑わいを疑似体験できる
 - 現代と江戸の景観を連続的に見せることができる
 - 遊び感覚で、なぞ解きをしながら歴史を学べる
 - 古着のリサイクルの経験、売買

3. 意見交換

江戸城をモチーフとした展示作品・映像・書籍等について

区分	名称	収蔵場所・権利者
模型	江戸城天守復元模型 太田道灌と江戸城（寛永期の天守閣） 江戸城と町割り 幕末の江戸城 一本丸・二丸御殿一	皇居東御苑・本丸休憩所増築棟 東京国際フォーラム 江戸東京博物館
障壁画 写真等	武州州学十二景図巻 江戸城年始登城風景図屏風 ガラス原板 江戸城上梅林門と二ノ丸喰違門 江戸一目図屏風 江戸城障壁画下絵 旧江戸城写真帖 江戸図屏風	江戸東京博物館 江戸東京博物館 江戸東京博物館 津山郷土博物館 東京国立博物館 東京国立博物館 国立歴史民俗博物館
その他 史料	江戸始図/今江戸図(極秘諸国城図) 江戸御城之絵図/江戸御城総絵図 江戸城御本丸御表御中奥御大奥総絵図 江戸城本丸・西丸御殿建築図面史料	松江歴史館 東京都立中央図書館 東京都立中央図書館 千代田区教育委員会
VR	VR作品『江戸城の天守』	凸版印刷株式会社

3. 意見交換

2 江戸の英知と現代に繋がるSustainability

これまでの議論を踏まえて、現代の課題を解決し、未来に向けて発信するメッセージとして、「サステナビリティ」を軸に江戸から続く英知を整理することができないだろうか

食

都市の魅力

教育

物流・交通

レジリエンス

SUSTAINABILITY



3. 意見交換

○ テーマ：食

「食」のスタイル変換

○ 外食産業の発展とともに、出現した食

鮓

- ✓ 冷蔵・冷凍技術はない時代に、食物の保存を可能にし、安全に食するための技術の進歩
- ✓ 旬のネタに創意工夫を凝らす技術の継承

そば

- ✓ 棒手振りなど江戸で働く職人などのファストフード
- ✓ 醤油や酒、みりんなどの調味料の生産技術が向上

現代における課題

フードロス、地産地消の推進、世界的な食料危機



出典：AMF / © bpk / Staatliche Museen zu Berlin, Museum für Asiatische Kunst, former collection of Hans-Joachim and Inge Küster, gift of Manfred Bohms, photography: Jürgen Liepe

英江知戸

時代の変化とともに、「食」も変容？

【キーワード】

鮓の最先端とは？はしり、さかり、なごり、はどのように変化するか

○ テーマ：都市の魅力

天守を失っても約200年間中心に存在

○ 軍事施設から平和の象徴的存在へ

見附の設置と現代の名残

- ✓ 見附：江戸城を守る濠に架けられた橋の先に設置された城門

江戸城外の石垣や濠の設置と現代の名残

- ✓ 飯田橋駅前に残る牛込門跡の石垣

現代における課題

人々を惹きつける魅力的な都市づくり
東京の隠れた魅力の発掘

英江知戸

多くの人々を惹きつける江戸城をモチーフとしたアイコンとは？

【キーワード】

五感を通じた体験、謎解きゲーム、キュレーションしなおしたポップアップストア、江戸後期から明治にかけての文化的なうつろい

3. 意見交換

○ テーマ：教育

幅広い教育機会の提供

○ 貴族・武士以外の庶民の子女への教育

寺子屋の発達と書籍の普及

- ✓ 「塵劫集」などを用いて読み書きそろばんが学ばれた
- ✓ 農書により、農業生産性が向上、人口増大
- ✓ 貸本屋により、庶民も高価な本を読むことができた
- ✓ 当時、世界トップクラスの識字率、近代化にも貢献

現代における課題

英語力・デジタルリテラシーの向上等による国際競争力強化



出典：AMF / © bpk / Staatliche Museen zu Berlin, Museum für Asiatische Kunst, former collection of Hans-Joachim and Inge Küster, gift of Manfred Bohms, photography: Jürgen Liepe

英江
知戸

幅広い教育機会の提供

【キーワード】

寺子屋、藩校、石川島人足寄場、鳶沢甚内

○ テーマ：物流・交通

江戸の発展を支えた物流・交通

○ 都市とともに発展した物流・交通

江戸城の外堀の整備

- ✓ 石材や木材等を大量に運搬できる水路を開拓
- ✓ 山を削り、入江を埋め立て、用地を確保。

物資輸送とリサイクル輸送の両立

- ✓ 江戸と武蔵野との間で食料と肥料が行き来した。



国立国会図書館「正保年中江戸絵図」



国立国会図書館「名所江戸百景 柳しま六景」

現代における課題

地球温暖化対策、脱炭素社会、効率化

英江
知戸

サステナブルな物流・交通

【キーワード】 下りもの、下らぬもの、五街道 26

3. 意見交換

○ テーマ：レジリエンス

江戸は大火などを乗り越え復興し、発展

○ 防火、低地の治水・利水を主眼にした都市づくり

墨田川への架橋

- ✓ 明暦の大火後に、**両国橋**、元禄期には、**新大橋**、**永代橋**も設置

火除地等の設置

- ✓ 明暦の大火後、火除地を設置（**広小路**など）
- ✓ 広小路設置に伴い、**屋台**（可動式店舗）拡大

河川の整備

- ✓ 元和6年（1620年）に**平川の付替え**
 - 江戸の市中への流入防止
- ✓ 更に、良質な水確保のため上水の整備
 - **小石川上水**、**神田上水**

現代における課題

木密解消（避難・輸送路の確保、延焼遮断帯形成）、
洪水対策（保水のための地下調節地やスーパー堤防の整備）

英江
知戸

災害への備え

⇒ 自助・共助・公助、予測、予防、事前復興

【キーワード】復興する力を見せる、理解して誇りに思う



出典：AMF / © bpk / Staatliche Museen zu Berlin, Museum für Asiatische Kunst, former collection of Hans-Joachim and Inge Küster, gift of Manfred Bohms, photography: Jürgen Liepe

4. 今後の予定

- 第4回 歴史・文化を軸にした東京の魅力発信に係る懇談会
 - ・ 今年9月頃開催を予定

※このほか、随時情報提供、意見交換を実施していく